

皮膚科専門研修プログラム

皮膚を通して
全身を診ることのできる医師を育てる

募集定員 **4名**
研修期間 **5年**



責任者からのメッセージ

皮膚科
教授 天野 正宏



皮膚科は新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、アトピー性皮膚炎や薬疹など薬物療法が主体の疾患から、熱傷や皮膚癌などの外科的治療が必要なまでの守備範囲とすることが大きな魅力です。数多くの症例を経験することで、患者さんの病巣を的確に表現できるようになり、そしてこのことは臨床診断や病態の把握に役立ちます。また皮膚科ではマクロ(臨床)とミクロ(皮膚病理)を対比できるのが強みです。病理が苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、皮膚病理は確定診断になる事はもちろん、臨床像や病態と密接に関係しています。私たちとマクロとミクロを診る目を養って頂きたいと思ひます。私たちとこ宮崎で皮膚科学を極めたい仲間を歓迎いたします。

プログラムの特徴

外来患者数は1日平均50人以上、疾患も先天性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患、皮膚悪性腫瘍など多岐にわたります。入院患者は重症薬疹、熱傷、皮膚癌など重症患者も多く、豊富な経験を積むことができます。また年間手術件数も多く全身麻酔の症例だけで約300件の多くの手術を経験することができます。内科系から外科系まで幅広く知識・技術を習得することができ、また研究面においては、南九州に多いとされる成人T細胞性白血病/リンパ腫の進行に関連する遺伝子変異の検索を行っています。地域医療に貢献できる研究や診察を目指しています。

連携施設名等

	施設名	指導医	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	天野 正宏 教授、他6名	56.3名	13.2名	243(入院)例
連携施設	県立宮崎病院、千代田病院、古賀総合病院、順天堂大学医学部附属 順天堂医院、九州大学病院				
準連携施設	国立健康保険西米良診療所、高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院、県立延岡病院(他)				

※プログラムに書かれている施設への研修は、必ずしも全ての施設で研修できるということではありません。

取得可能な専門医資格および技能

- 機構認定皮膚科専門医
- 日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医
- 日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

基幹：研修基幹施設での研修

大学院(研究)：基礎医学の講座などで研究に専念する期間(2年間まで)

連携：研修連携施設での研修

⇒県立宮崎病院(宮崎市)、古賀総合病院(宮崎市)、千代田病院(日向市)

大学院(臨床)：皮膚科を研修しながら研究をする期間

コース	研修1年目	研修2年目	研修3年目	研修4年目	研修5年目	
A 基本コース	基幹	基幹	連携	連携	基幹	<div style="text-align: center;"> <p>受験申請</p> <p>↓</p> <p>専門医試験</p> <p>↓</p> <p>専門医</p> <p>↓</p> <p>サブスペシャリティ修得</p> </div>
B 連携施設中心コース	基幹	連携	連携	連携	基幹	
C 社会人大学院コース	基幹	基幹 (社会人大学院)	連携 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	
D 大学院在学中に受験するコース	基幹	連携	基幹	大学院 (研究)	大学院 (研究)	

※産休・育休の期間は6か月を上限に研修期間として認められます。

※1人医長の期間は最大2年まで研修期間として認められます。

※大学院生として皮膚科以外の臨床講座あるいは基礎系講座あるいは研究所等にて皮膚科領域に関連する研究に従事する場合は、2年間に限りに研修期間と認められます。

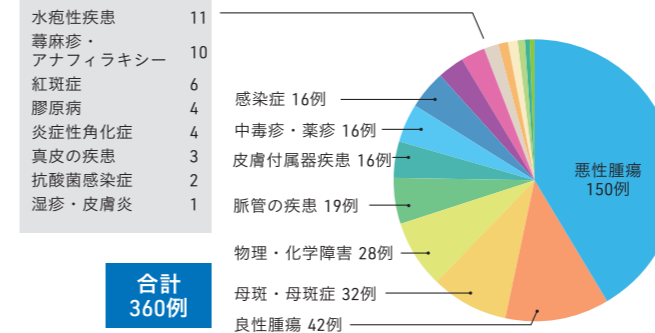
プログラム達成目標

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術を獲得できることを目標とし、医師としての一般的な基本能力を基盤に、皮膚疾患の高度な専門的知識・治療技能を修得し、関連領域に関する広い視野をもって診療を行うことができるようになることを目標とします。

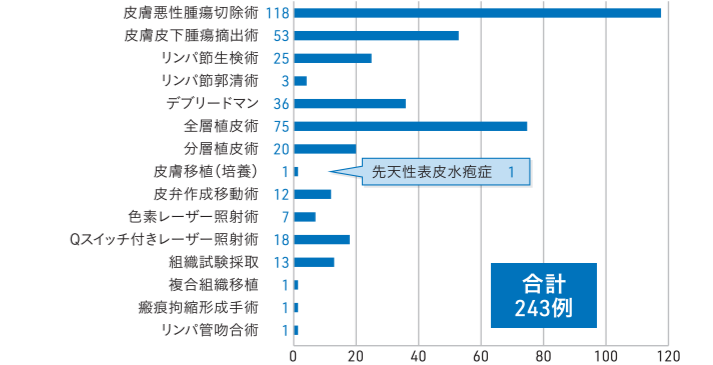
主要症例名と実績数(令和3年度)

昨年度の実績数は以下のとおりです。

○ 入院患者疾病別内訳



○ 手術件数(入院)



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月曜は終日カンファレンスを行います。専攻医は自身の受け持ち入院患者について1週間のウィークリーサマリーのプレゼンテーションを行ってまいります。また皮膚病理検討会や、外来スライドカンファレンスも行っております。外来患者のカンファレンスにも参加することで、稀な疾患からコモンな疾患まで幅広く知識を深めることが出来るようなカンファレンスを行うことを目標としています。抄読会も行い、英語論文に慣れ親しんでもらうことを目的としています。水曜金曜の

外来日では教授陪席に従事します。その他指導医のもと、皮膚科的検査も積極的に行ってもらいます。病棟診療についてはチーム医療制度を導入し、受け持ち患者の診察・検査・治療・手術手技について、習得を目指します。その他日本皮膚科学会主催の必須講習会を受講し、年に2回以上筆頭演者として学会発表を行ってもらい、年に1編以上筆頭筆者で論文を作成していただくことを目標としています。

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟回診	手術及び病棟	外来	手術及び病棟	外来
PM	カンファレンス・病理・抄読会等	手術及び病棟	外来	手術及び病棟	病棟、回診

指導医からのメッセージ「皮膚を通して全身を診る。」



講師 持田 耕介

宮崎大学皮膚科は、全身最大の臓器である「皮膚」を皮膚病変のみに限らず、それに随伴した全身疾患のマネジメントができる医師の育成に取り組んでいます。具体的には、大学で難治な疾患や手術手技等を学び、関連病院等でその技術や知識を地域に還元し、さらに専門性を深め、より深い学びのために希望者には大学院進学や先進医療を学ぶための国内留学、世界的視野を得るための海外留学等も行ってまいります。私自身、国内留学として静岡がんセンターに1年間、大学院生として基礎医学の先生方とATLLの研究を行っております。医局員全体で協力し合いながらワークシェアを行い、皆が生きがいをもって働ける場の提供に努めております。皮膚科に少しでも興味がある方は、是非ご連絡ください。

先輩からのメッセージ



専攻医2年目 西原 桃子

令和4年度入局の西原と申します。兵庫県出身で宮崎大学医学部を卒業後、宮崎大学医学部附属病院で2年間研修し宮崎大学皮膚科へ入局しました。私が皮膚科に興味を持ったきっかけは学生時代の皮膚科での臨床研修です。皮膚科は処置や手術など手を動かす機会が多く、学生だった私も一員として参加できたことにとってもやりがいを感じました。その後2年間の研修で様々な診療科を回り、手術や手技が多い診療科に魅力を感じ皮膚科の他にも外科や救急と迷うようになりました。皮膚科は外科的疾患のみならず内科的疾患も多く含まれており診断から治療を自科で完結できることも魅力を感じるようになりました。また、自分のライフスタイルが変わったとしても比較的通常の働き方をしやすい診療科ということも魅力の一つだと思いました。皮膚科は患者さん自身が治療効果を実感できる診療科であり治療継続するためにも患者さんとの信頼関係が重要だと感じています。そのためにも上級医の先生方や同期、患者さんから様々なことを吸収し日々精進していきたいと思ひます。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2967
F A X : 0985-85-6597
e-mail : derma@med.miyazaki-u.ac.jp

皮膚科HP <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/derma/>



内科
小児科
皮膚科
精神科
外科
形成外科
整形外科
テリハシヨリン科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
総合診療